

## 2025反核平和ウォーク&ラン

# 船橋の戦跡を歩き行田公園でRUNRUN

朝から「あの日」を思わせる炎天下、8月3日（日）船橋市内に戦後80年を経て今も残る戦跡を辿る「千葉・反核ウォーク&ラン」を10名の参加者で行いました。

集合場所のJR船橋法典駅に行くとき既に「反核マラソン」の黄色のビブスを着けた参加者の多くが集まっていた。今年は各方面に声かけをした結果、昨年より多い10名の参加がありました。申込自体は12名でしたが、酷暑のため体調を崩された方もいて、10名にとどまりました。また、県連盟の会員では無い2名の一般の方にも参加いただきました。



船橋法典駅脇にて

主催者からルートの説明があり当初の予定から若干遅れましたが最初の目的地「中山競馬場」に向けスタート。

中山競馬場正門にて



「中山競馬場」は戦時中陸軍に接収され破傷風血清用の馬が多数集められ、馬から血を抜いていた歴史があることなど忘れられているかのように多数の人が行き来していました。



一億一心の掲揚台

その競馬場の裏手にある「熊野神社」の入口には日本が戦争に突き進んだ皇紀2600年を祝う国旗掲揚台の朽ちた姿がありました。その先には人間の犠牲になった「馬頭観音」がひっそりと佇んでいました。

次の目的地は「行田公園」。かつて海軍の無線電信所船橋送信所があったところ。およそ2kmの円の中心に「船橋無線塔記念碑」がありますが、真珠湾攻撃を命ずる「ニイタカヤマノボレー二〇八」が発信された場所として知られています。



この公園で一旦休憩したところ思わぬ集団に遭遇。

青葉の森リレーマラソンの常連チーム「行田公園走友会」の面々。

聞けば同公園を利用して行った100kmリレーマラソンの打ち上げBBQとか。交流を図りつつ、公園内のジョギングコースを使っ

て「なんちゃって反核ラン」を一部の参加者で行いました。



しばし休憩の後、最後の目的地「海軍石柱」「軍需工場跡地」に向かいました。石柱は住宅街の畑地にポツンとあり、ぼ～としてると見過ごすかもしれませんが、当時の海軍用地の広さを想像させるもの。

そして最後の目的地「日本建鐵船橋製作所」戦時中は海軍の局地戦闘機「雷電」の部品を製造していたという三菱の下請け工場です。今はすっかり更地となり商業施設やマンションが立ち並び往時の面影はありませんが広大な敷地を眺めると当時の活況が目に見えそうです。



当日の歩行距離は約5km、途中休憩・反核ランも入れて約2時間の行程でした。終了後は有志で打ち上げを行い「暑い」一日を無事終えることが出来ました。次回は市川市の戦績巡りを企画したいと考えています。